

平成19年10月31日

学 長 殿

リサーチセンター評価専門部会長 加藤史郎

## リサーチセンター評価結果報告書

豊橋技術科学大学リサーチセンター設置基準等に係る取扱第10条に定める評価を行いましたので報告します。

評価実施リサーチセンター名 **地域協働まちづくりリサーチセンター**

### 評価

#### 1. 設置目的に沿った運営がなされているか

財政評価：過去3年間、今後2年間の予定外部資金は、設置基準を超えている。

3コアが構成され、地域社会との連携に重点を置いて、「安全に安心して暮らせる持続可能な建築・都市・地域づくり」のための統合学術研究拠点の構築を目指し、地域密着型の連携融合事業及び地域貢献・振興、他大学との協働事業を基本として設置目的に沿って概ね順調に運営されている。

#### 2. 設置後の研究成果はどうか

年報による評価：関連する各種事業の報告・研究成果の公開がなされている。特に、東三河地域防災研究協議会の委託研究、「県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン」研究、現代GPによる地域共同型の開発・実践が進められ、愛知大学・人間環境大学と連携し、積極的な活動を行っている。また成果を地域社会に還元している。関連したシンポジウム開催、多くの論文公表なども含め成果を挙げている。

「県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン」、現代GP等により、若手の人材育成に貢献している。

#### 3. 今後の研究計画及び期待される効果はどうか

東三河地域防災研究協議会の委託研究、「県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン」研究が現在も継続して推進されている。地域共同型の開発研究と対応する実践が積極的に進められ、環境・社会基盤関連において、当該分野の人材育成（社会人、博士教育課程）、工文理連携へ展開も含め、研究教育拠点の形成が期待できる。

2期目の県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン事業では、この地域のための提言が大いに期待される。持続可能社会の実現、地域密着型防災研究の充実と社会貢献を果たすことができるものと期待される。

#### 4. 総合評価 **【4.0】(5段階評価の平均値)**

関連系と共同で可能な関連分野を広げ、本学全体の教育研究の発展に結びつける教育研究プロジェクト（あるいは教育課程）等の展開が必要である。

3年間の設置延長は問題ない。